

# M-GTA研究会：定例研究会

## 第11回 修士論文発表会

**概要：**①M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文を書き上げた学位取得者の**成果発表**——領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。②現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の**中間発表**——スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。

**日時：**2018年7月14日（土） 13:00～18:00

**会場：**大正大学7号館4階741教室

[https://www.tais.ac.jp/utility/access\\_map/](https://www.tais.ac.jp/utility/access_map/)

**参加スーパーバイザー：**阿部正子（新潟県立看護大学）、小倉啓子（ヤマザキ動物看護大学）、唐田順子（国立看護大学校）、木下康仁（聖路加国際大学）、倉田貞美（浜松医科大学）、坂本智代枝（大正大学）、佐川佳南枝（京都橘大学）、高丸理香（鹿児島大学）、竹下浩（筑波技術大学）、都丸けい子（聖徳大学）、長山豊（金沢医科大学）、根本愛子（東京大学）、林葉子（[株]JH産業医科学研究所）、松戸宏予（佛教大学）、宮崎貴久子（京都大学）

### プログラム：

13:00～13:10 開会の挨拶・趣旨説明 林葉子・坂本智代枝

13:10～14:30 中間発表 [SV:倉田貞美]  
「初めて子どもをもつ妊娠期の妻と夫の相互作用に関する研究」  
井出 彩織（長野県看護大学大学院看護研究科母性・助産看護学分野M2）

14:40～15:50 成果発表 [SV:林葉子]  
「認知症で糖尿病をもつ独居の高齢者が在宅療養生活を継続するための  
熟練訪問看護師の支援の内容とプロセス」  
篠原 実穂（武蔵野大学大学院看護学研究科 地域看護学専攻2018年3月修了）

16:05～17:15 成果発表 [SV:佐川佳南枝]  
「医療リワーク利用者の就労継続に影響する認識と行動の変容プロセス」  
池田江梨（大正大学大学院人間学研究科社会福祉専攻2018年3月修了）

17:30～17:50 総括コメント 木下康仁

17:50～18:00 閉会の挨拶 阿部正子

**申込：**会員は研究会HPかMLから「7月12日(木)21時」までにお申し込みください。非会員は「7月6日(金)」以降に研究会HPで公開される参加申込URLから、「7月12日(木)21時」までにお申し込みください。定員になり次第〆切ります。なお、非会員は資料代2,000円を申し受けます。

**問合せ：** 'M-GTA研究会事務局' <m-gta@accelight.co.jp>

**担当：**定例研究会委員会（竹下・坂本・阿部・都丸・宮崎・）